

はら **原** すすむ **晋**  
**講演会**



『箱根駅伝』に学ぶ  
子どもが力を出せる育み方

2020年11月8日(日)

14:00開演(13:30開場)

会場 東京都立西高等学校 視聴覚ホール  
主催 東京都立西高等学校PTA  
企画／開催 PTA文化部

### 原 晋 (はら・すすむ)

青山学院大学 地球社会共生学部 教授  
青山学院大学 陸上競技部長距離ブロック 監督



1967年、広島県三原市出身。世羅高校を経て、中京大学に進学し、全日本インカレ5000mで3位入賞。卒業後、陸上競技部第1期生として中国電力に進むも、故障に悩み、5年目で競技生活から引退。95年、同社でサラリーマンとして再スタートし、電気の検針や料金の集金などの業務につく。その後、営業マンとして新商品を全社で最も売り上げ、ビジネスマンとしての能力を開花。

陸上と無縁の生活を送っていたが、長年低迷していた青山学院大学陸上競技部の監督への就任話が舞い込む。選手として箱根駅伝出場などの華々しい成績や指導経験がなかったものの、2004年に3年契約で監督に就任。

契約3年目箱根駅伝出場を逃し監督辞任のピンチもあったが、強化部1期生の学生と共に強化に励み、翌年の予選会では次点まで成長。そして就任5年目となる09年に33年ぶりの箱根駅伝出場を果たす。

15年、青学史上初となる箱根駅伝総合優勝に輝く。16年、箱根駅伝2連覇、および、39年ぶりに、1区から10区まで一度も首位を譲らない完全優勝という快挙を達成。

そして17年、箱根駅伝3連覇。大学3大駅伝である出雲駅伝、全日本大学駅伝、箱根駅伝の優勝により、大学駅伝3冠という快挙も同時に成し遂げる。3連覇3冠の同時達成は史上初。

18年、箱根駅伝4連覇。19年の箱根駅伝は、出雲駅伝と全日本大学駅伝で優勝し、箱根駅伝5連覇と史上初の2回目の3冠を目指す。惜しくも総合2位(復路優勝)。20年は大会新記録で5度目の総合優勝に返り咲いた。

ビジネスの経験を生かした「チームづくり」「選手の育成」で陸上界の常識を破り、快進撃を続ける。2019年4月からは地球社会共生学部教授として教壇にも立っている。

主な著書に、『フツ——の会社員だった僕が、青山学院大学を箱根駅伝優勝に導いた47の言葉』(アスコム刊)などがある。

### 校長 萩原 聡

西高校では、生徒を「大きな器」にするために様々な講演会を行っています。PTA主催の文化イベントである講演会も毎年素晴らしい講師の方々をお招きし、示唆に富んだお話を伺っています。



今年の講師は、新春のスポーツイベントとして話題に尽きない関東学生陸上競技連盟主催の東京箱根間往復大学駅伝競走、略して「箱根駅伝」において、今春総合優勝に導いた原晋(はらすすむ)さんです。

我が家の近くに、原先生夫妻が面倒を見ている陸上競技部の寮があり、学生が走っている姿をよく見かけます。原先生は、毎年、チームスローガンを掲げ、4年連続総合優勝など、青山学院大学体育会陸上競技部監督として、チームを高いレベルに引き上げた手腕は各界において、注目の的となっています。

最近、テレビ番組にコメンテーターとして出演されることも多く、今回は、どのようなお話が伺えるか大変楽しみです。

### PTA会長 朝日 透

今年のPTA講演会の講師は、メディアでも引っ張りだこの青山学院大学陸上競技部長距離ブロック監督の原晋教授です。もともと企業で活躍されていた営業成績抜群の営業マンでしたが、青山学院大学からの要



請にこたえて、退路を断たれ、「覚悟」を決めて監督を引き受けられました。中々そこまでできないと思います。また、監督就任当初は部の成績が上がらず困難なときがあったとのことですが、現在は陸上界の歴史に名を刻むほどの見事な成績を出し続けていらっしゃいます。「人を育てる」と、「成績をあげる」ことを両立させてこられた原監督から生のお話をお聞きすることができることは、私ども保護者が子供を育てたり、職場でチームで仕事をする際に参考となることがあるのではないかと大変楽しみです。PTAの皆さん、ぜひご参加ください。

最後に、原監督を招聘するにあたり、交渉して下さった榊島栄一郎前PTA会長に心からお礼申し上げます。